

## 編集後記

「横幹」第1巻の第1号と第2号を発行することができ、とりあえずほっとしている。横幹推進に向けたこれまでの多くの議論の蓄積があったので、論説・解説記事を主体とした編成で創刊号を発行することはそれほど難しいことではなく、その時点での大きな課題の一つは原著論文の取り扱いであった。横幹の活動が世の中で認知され根付いていくためには、原著論文の増加が不可欠である。幸いに本号では4編の原著論文を掲載することができた。この4編を採録するに当たっての査読プロセスは、私が当初思っていた以上にエキサイティングなものであったし、「横幹」発行の意義を改めて認識させられた。

ディシプリンが確立された分野（横幹連合の会員学会を含めほとんどの学会がこれに当たる）では、論文の新規性や有用性に関する基準がある程度固まっているた

め、それに基づいて論文掲載の可否を決定することができ、「横幹」の場合、既存のディシプリンの範疇に入らないものこそ価値があり、分野を横断しかつ統一する新しい学問領域創生にの提案や広い視野に立ったこれまでとは異なる切り口からの議論など、既存の論文誌が取り込むことができなかつた論文を掲載できることが「横幹」の特徴である。しかし、査読者は「横幹」であることを認識しつつ各自のディシプリンに近い範疇での基準に基づいて判断しがちである。先ほどエキサイティングと述べたのはこの部分で、査読過程であるのでオープンにできないのは残念ではあるが、そこでの著者と査読者の目に見えないやりとりは、横幹の活動を活性化させる原動力を見たような気がする。

「コトづくり」や「知の統合」という視点での斬新な原著論文の投稿をお待ちしております。

会誌編集委員会 原辰次（東京大学）

### 【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

#### 2007年度役員

会 長	吉川弘之（（独）産業技術総合研究所）	
副会長	木村英紀（（独）理化学研究所）	江尻正員（産業コンサルタント）
理 事	長田 洋（東京工業大学）	佐野 昭（慶應義塾大学）
	榎木哲夫（京都大学）	清水義雄（信州大学）
	鈴木久敏（筑波大学）	出口光一郎（東北大学）
	西村千秋（東邦大学）	能勢豊一（大阪工業大学）
	藤井真理子（東京大学）	松永 是（東京農工大学）
	矢川元基（東洋大学）	遠藤 薫（学習院大学）
	大熊和彦（東京工業大学）	帯川利之（東京大学）
	神田雄一（東洋大学）	椿 広計（筑波大学）
	原 辰次（東京大学）	廣田 薫（東京工業大学）
	古田一雄（東京大学）	山崎 憲（日本大学）
監 事	木下源一郎（中央大学）	木村忠正（電気通信大学）

#### 2007年度 会誌編集委員会

委員長	原 辰次（東京大学）	
委 員	廣田 薫（東京工業大学）	長田 洋（東京工業大学）